

JIS Q 14001 (ISO 14001)

環境マネジメントシステム

環境マネジメントシステムの必要性

環境問題は地域の公害問題から今や地球規模の問題へと拡大しています。地球温暖化による気候変動や異常気象による災害が多発している他、プラスチックによる海洋汚染、フロンガスによるオゾン層破壊など、深刻な事態が身近に迫ってきています。組織の事業活動が環境に与える影響について社会の目は厳しくなっており、環境事故が発生した場合、その責任を追究されることとなります。逆に環境にやさしい活動をしている組織は社会から高い評価を得ることができます。環境マネジメントシステムは、環境に関わる社会の要求に応じて、組織の体制を整備し、活動内容を変革するための有効なツールとなります。

社会的要求への対応

事業上の取引関係など、ステークホルダーからの環境配慮要求が増大しています。グリーン調達その他、CSR活動など広く環境に配慮した取り組みの必要性が高まっています。

コンプライアンスへの対応

事業活動による環境影響は広く社会に及ぶことが多く、環境関連の法規制が強化されており、コンプライアンス（法令順守）が企業経営の重要な要素の一つになっています。

環境リスクへの対応

有害物質の漏洩や産業廃棄物の不正処理など、環境問題が発生すると法的責任以上に社会的制裁も大きく、事業活動にとって致命傷となります。組織的に環境に対する意識を向上させ、汚染を未然に防止する必要があります。

期待される効果

● 環境負荷の低減

組織の定めた重点目標の達成努力により、騒音、振動等公害の防止、省資源、省エネルギーによる環境負荷の低減を進めることができます。

● コストの削減

省資源、省エネルギーによる資源使用量の削減、ムダの排除、廃棄物の発生量の低減、再利用による処理費用の抑制等により、コスト削減が期待できます。

● 環境リスクの低減

法違反による経済的、社会的制裁の回避、事故、緊急事態の発生予防、適切な情報公開等により、環境リスクの低減に役立ちます。

● 組織の体質強化

PDCAを基調とするマネジメントシステムの活用により、組織の方針の徹底、役割・責任の明確化、実施実績の向上、従業員の意識の高揚等、組織の体質強化に役立ちます。

● 社会的評価の向上

組織の方針、取り組み、成果の公表により、社会からの信頼、評価を高めます。

● 新規環境ビジネスへの拡大

環境対策で生まれる新規固有技術の展開等により、新しい環境ビジネスの拡大が望めます。